

北海道水素社会実現戦略ビジョンの概要

- 趣 旨：低炭素社会の構築に向け、中長期的な視点から北海道における水素の利活用のあり方を示すため策定
- 目標年次：平成28(2016)年度～平成52(2040)年度頃
(国の「水素・燃料電池戦略ロードマップ」における水素社会の実現を目指す年次を踏まえ設定)

基本的考え方

【背景】

《国の動き》

- ◆エネルギー基本計画 (H26. 4)
 - ・水素=将来の二次エネルギーの中心的役割
- ◆水素・燃料電池戦略ロードマップ (H26. 6)
 - ・着実な水素社会の実現

《道の課題》

- ◆二酸化炭素排出量の削減
- ◆未利用再生可能エネルギーの活用
- ◆緊急時における電力、熱の確保

《道の優位性》

- ◆全国トップクラスのポテンシャルを持つ再生可能エネルギー
- ◆水素関連技術の集積
- ◆調査研究、技術開発、実証等の適地

【目指す方向】

- ◎ 地産地消を基本とした水素サプライチェーンの構築
 - ◆二酸化炭素削減効果等を踏まえた事業成立性の高い水素サプライチェーンの構築
- ◎ 低炭素で安全・安心な地域づくり
 - ◆再生可能エネルギーを活用した水素製造の促進
 - ◆エネルギーの多様化、地産地消による安全・安心な地域づくり
- ◎ 環境産業の育成・振興
 - ◆本道の特性を活かした研究開発、実証事業の実施を通じた水素関連産業の創出、環境産業の育成・振興

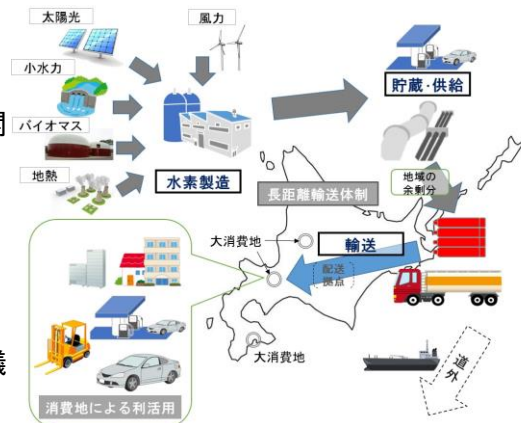
施策の展開

- #### 《取組初期》 身近な水素の利活用を通じた機運醸成
- ◆家庭用燃料電池、燃料電池自動車の導入促進
 - ◆水素ステーションの整備促進

- #### 《地域特性を活かした展開》
- ◆地域特性に応じた利活用
 - ◆水素サプライチェーンの広域展開
 - ◆環境産業の育成・振興

- #### 《道民の理解の促進》
- ◆分かりやすい情報の発信

- #### 《制度的課題等への対応》
- ◆規制緩和等に関する国等との協議
 - ◆財政支援に関する国等への要望



ビジョンの推進

- ◆水素サプライチェーン構築の推進・導入ロードマップの策定
- ◆企業・団体・市町村等との連携
- ◆関連施策の総合調整

実証事業

自治体の取組

企業等の取組

水素エネルギー技術

北海道における
水素社会の実現